

小豆島町内海地区統合小学校整備基本計画 概要版

これまでの経緯

令和4年7月に開催された小豆島町総合教育会議において、小豆島町内海地区にある星城小学校、安田小学校、苗羽小学校の3小学校について、各学校施設の老朽化や児童数の減少により、統合が必要であるという方向性を確認しました。

同年11月の総合教育会議において、地震による津波や土砂災害に対する安全性等の観点から、新しい学校建設の候補地は、旧小豆島高校跡地に決定いたしました。次の段階として、旧小豆島高校跡地に、統合小学校を建設する案と、中学校を建設し、現在の小豆島中学校を改修して統合小学校にする案がありました。

この2案については、委員の皆さまの意見も分かれ、大変難しい判断となりましたが、令和6年2月9日に開催した総合教育会議において、小学校教育現場の多様化するニーズに対応し、児童に、より安全で快適な学習環境を提供することが最も重要であるとの判断から、統合小学校を新築する案に決定いたしました。

統合小学校建設の敷地について

所在地：香川県小豆郡小豆島町草壁本町字上蔵田1番1 ほか9筆

面積：38,237 m²

地目：学校用地（旧小豆島高校跡地）

都市計画区域：都市計画区域内（用途地域の指定なし）、建ぺい率70% 容積率200%

土砂災害及び津波ハザードマップ：該当区域なし



旧小豆島高校跡地は、平成29年に閉校されるまで90年以上学校用地として利用されており、内海地区において、教育のシンボルとなる場所として認知されてきた。

また、昭和49年、51年の豪雨災害や平成16年高潮災害による被災を免れており、南海トラフ巨大地震に起因する津波浸水被害が想定されないなど、内海地区中心部にあつて特に安全性の高い区域に位置している。そのため、新築される統合小学校は、大規模災害時には周辺住民の避難拠点として重要な役割を果たすことが期待される。

計画概要

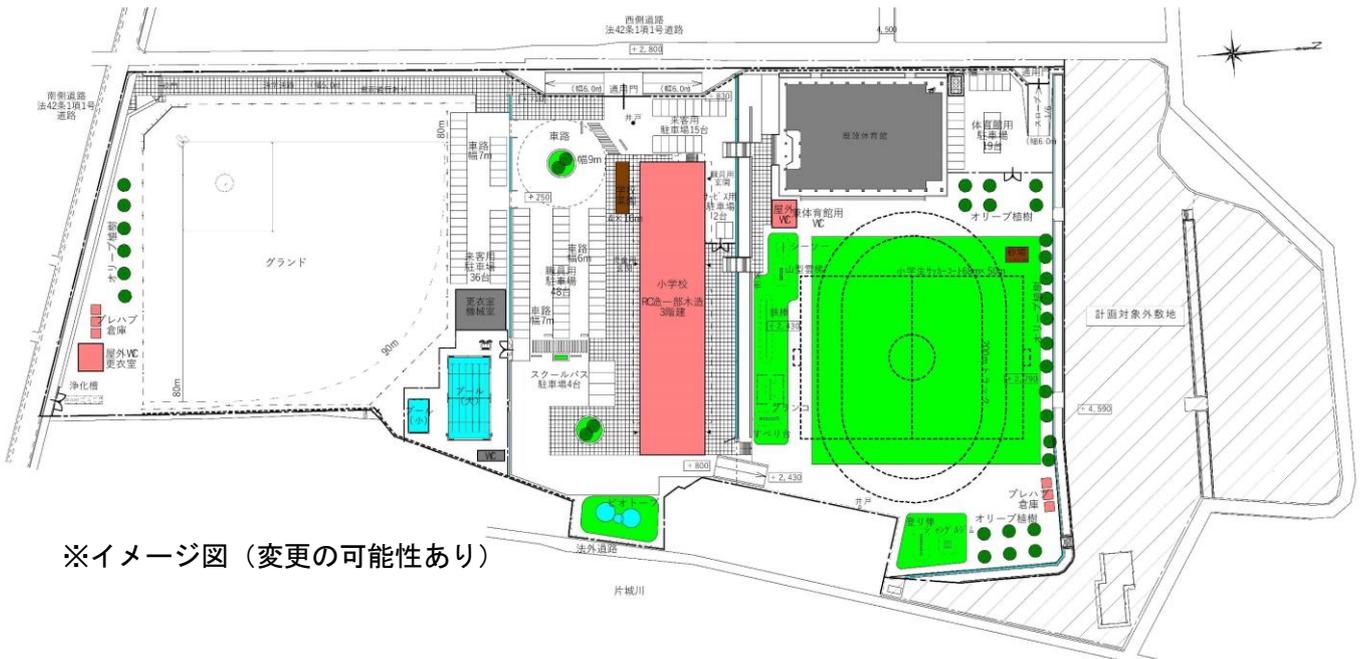
1. 統合小学校の規模

児童数	267名 (R9年度推計)		
学級数	普通学級 12 (各学年2学級)、特別支援学級 5	計 17学級	
建築面積	校舎 約4,800㎡		
通学対象児童	旧内海町全域		

2. 屋外施設概要

屋外運動場	200mトラック	周辺に遊具等を設置
屋外プール	大プール 25m (6レーン程度)	小プール
屋内運動場	既設体育館を改修して利用する。(RC造 延床約1,500㎡)	
駐車場	スクールバス用4台、職員用約50台、来客用約60台	
その他	ビオトープ、学校菜園、オリーブ等植栽、屋外トイレ	

3. 校舎配置図



※イメージ図 (変更の可能性あり)

開校までのスケジュール

令和9年4月開校を目指して、以下のスケジュールで整備を進めます。

	R5年度			R6年度						R7年度						R8年度						R9年度									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
建築設計等業務	基本計画			基本設計4ヵ月						実施設計6ヵ月						建築確認等															
調査業務等				地盤調査・敷地測量 ・農道廃止等																											
建築工事												入札 手続き						建築工事16ヵ月													
開校準備				準備委員会・各種検討委員会																								引越		開校	